

- ー 大学が有する多様な資源を活用した実践事例から、  
大学とNPO等との協働による地域づくりのアイデアやノウハウを学びますー

## 『大学とNPO等との協働による地域づくり コーディネーター養成研修』開催要項

【開催日程】 平成23年8月19日(金)～8月21日(日) 2泊3日

【開催場所】 山梨県小菅村「東京農業大学 多摩川源流大学白沢校」小菅村役場

### 《開催趣旨》

- 近年、森林整備を取り組むNPO・ボランティア団体は全国で約2,700団体を越えるまで拡がりを見せるとともに、過疎化・高齢化が進展する農山村の地域づくりに取り組むNPOも増加しつつあります。
- また、農山村の地域づくりにおいては、人材や知恵を有する大学に対する地域からの期待に加えて、実践的で課題解決的な「教育」や「研究」、さらには「社会貢献・地域貢献」などの観点から、大学が地域づくりに関わる事例が増加しつつあります。
- こうした中、地域外の大学やNPO等が継続的な取組を進めていく際には、地域と地域外の組織等をつなぐNPO等のコーディネート組織の重要性が指摘されています。
- そこで、本研修では、大学がNPO等との協働により、「教育」「研究」「社会貢献・地域貢献」等の多様なタイプのプログラムにより、複合的に地域づくりに関与してきた実践事例から、企画・コーディネートとポイントやそのプロセスについて学ぶとともに、実践者同士のネットワークづくりを行います。

### ◆参加対象 ～こんな方に、おススメです～

大学とNPO等との協働による農山村の地域づくりのコーディネートを実施している大学・NPO等のスタッフ等(注)

(注) ここでは、大学とNPO等との協働による地域づくりの企画・運営やコーディネートの経験がある方を、主な参加者として想定しており、所属組織を大学やNPO(特定非営利活動法人、任意団体)に限定するものではありません。

### ◆研修内容 ～こんなプログラムをご用意いたします～

#### ① 「大学とNPO等の協働事例」の最前線の現場を視察！

山梨県小菅村を舞台に展開されている東京農業大学による「多摩川源流大学」の取組について、設立の経緯から具体的なプログラムの内容、さらにはフォローアップの仕組みまで、大学、NPO、地域の各立場から、最前線の現場に関わっている方々に、じっくりお話を伺うとともに、活動フィールドや拠点を視察します。

#### ② 全国から多様で特色ある大学とNPO等の協働事例を紹介！

教員から学生まで、多様な人材や知恵を有する大学が農山村の地域づくりに関わる際には、「教育」や「研究」に加えて、「社会貢献・地域貢献」などの多様なプログラムによって関係構築が可能です。そこで、これらの多様なプログラムを組み合わせ、複合的に地域づくりに関わっている全国の特色ある実践事例を紹介します。

#### ③ 専門家のアドバイスをもとに、自団体のアクション・プランを作成します！

大学やNPO等の協働による農山村の地域づくりは、地域資源の状況によって多様なアプローチが想定されます。そこで、専門家のアドバイスをしつつ、参加者同士の意見交換を通して、参加者の所属団体による今後の活動の活性化に向けたアクション・プランを作成します。

#### ④ 全国の実践者同士のネットワークづくりを応援します！

全国各地から、多様なスタイルで大学やNPO等との協働による地域づくりを実践している方々が一堂に会するため、今後の活動の活性化に向けてのネットワークづくりにも役立ちます。

## 実施概要

- ◆開催場所 『東京農業大学 多摩川源流大学白沢校舎』（山梨県北都留郡小菅村 1911）  
『小菅村役場』（山梨県北都留郡小菅村 4698）
- ◆宿泊施設 『廣瀬屋旅館』（宿泊部屋は、相部屋となります）  
（〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4319 TEL：0428-87-0235 <http://www.hiroseya.com/>）
- ◆開催日時 【集合】平成23年8月19日（金）12時30分 JR中央本線「上野原」駅北口  
【解散】平成23年8月21日（日）15時00分 JR中央本線「上野原」駅北口  
※ いずれも、自家用車等による現地集合・解散も可能です。
- ◆募集人数 30名（応募者多数の場合は、先着順とします。）
- ◆参加費 18,000円（2泊6食分の実費。研修参加費は無料。懇親会は、別途ご負担下さい。）
- ◆交通費 原則自己負担（但し、遠方からの参加者（関東・中部地区以外を想定）の負担軽減のため、予算の範囲内で、遠方からの参加者に対する交通費補助を予定しています。）  
※ 補助額は、参加決定者の交通費総額を元に総額から配分するため、事前の問合せにはお答え致しかねますので、予めご了承ください。  
※ JR中央本線「上野原」駅から小菅村までの送迎バスについては、片道500円自己負担となります。
- ◆申込方法 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先まで、E-mail または FAX・郵送にてお申込先までお申込ください。（できるだけE-mailでお申込下さい。様式は、当機構ホームページ（<http://www.green.or.jp>）よりダウンロードして下さい）
- ◆申込締切 平成23年8月5日（金）必着  
※ 定員を超過した段階で申込は締め切りますので、お早めにお申込み下さい。
- ◆交通案内 JR中央本線「上野原」駅から、送迎バス60分  
《往路列車（参考）》  
羽田空港 10:23 →（京浜急行）→ 品川 10:44、10:48 →（JR山手線）→ 新宿 11:07、11:13 →（JR中央本線）→ 高尾 12:15、12:17 →（JR中央本線）→ 上野原 12:33  
《復路列車（参考）》  
上野原 15:20 →（JR中央本線）→ 神田 16:31、16:35 →（JR山手線）→ 浜松町 16:42、16:48 →（東京モノレール）→ 羽田空港第2ビル 17:08

## プログラム（予定）

※ 一部予定のものを含むため、変更となる場合もありますが、ご了承ください。

### ◆1日目 [8月19日（金）]：【大学とNPO等の協働事例の現場から学ぶ】

- 大学と地域、NPO等間のさまざまな連携・協働による関係構築を経て誕生した「東京農業大学 多摩川源流大学」について、現地視察を交えながら、事業展開や実施体制等のポイント等を学びます。
- 大学に加えて、地域、NPO等の多様な立場の方々から、それぞれの視点から話題提供いただきます。

1日目  
午後

- 開会・オリエンテーション・研修の趣旨説明
- 話題提供①「多摩川源流大学の内容と体制 ～東京農業大学と小菅村・NPOの連携プロセス～」
- 現地視察「多摩川源流大学の活動フィールド・拠点等の視察」

1日目  
夜

- 参加者自己紹介・所属団体事例紹介
- 懇親会

## ◆2日目 [8月20日(土)] : 【多様なタイプの大学とNPO等の協働事例に学ぶ】

- 「教育」「研究」「社会貢献・地域貢献」というさまざまなプログラムを組み合わせ、複合的・発展的に地域づくりに関わっている多様なタイプの大学とNPO等との協働事例から、実践手法を学びます。
- 段階的に大学やNPO等が関わりながら、地域づくりを進展させるプロセスのあり方について学びます。

<b>2日目 午前</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話題提供②「大学とNPO等との協働による地域づくりの関係構築の「タイプ」と、発展の「プロセス」の考え方</li> <li>○ 事例発表①「大学等がコーディネートする協働事例」               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1). 金沢大学「里山里海プロジェクト」(石川県能登半島)</li> <li>(2). 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(岩手県田野畑村ほか)</li> <li>(3). 都留文科大学 高田研究室×複数のNPO等</li> <li>(4). その他</li> </ol> </li> </ul>
<b>2日目 午後</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事例発表②「NPO・地域等がコーディネートする協働事例」               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1). 農山村支援センター</li> <li>(2). 人と地域の研究所・高知大学「いなかインターンシップ」</li> <li>(3). 福島県鮫川村 × 東京農業大学緑地計画学研究室等</li> <li>(4). その他</li> </ol> </li> <li>○ ワークショップ①「大学と地域をつなぐ、多様なタイプの「教育」「研究」「社会・地域貢献」プログラムと、そのコーディネート・実施体制のポイント」</li> <li>○ ワークショップ②「多角的に大学等が参画する、地域づくりの“発展のプロセス”の基本的な考え方と、そのコーディネート・実施体制のポイント」</li> </ul>
<b>2日目 夜</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループ発表・ふりかえり</li> <li>○ 懇親会</li> </ul>

## ◆3日目 [8月21日(日)] : 【今後の取り組みに向けたアクション・プランづくり】

- 所属団体で、大学とNPO等が協働で地域づくりを実施するために必要な取組やヒントを整理します。
- 特に、事例発表者から、これまでの実践経験で培った様々な知見を元に、各団体の個別課題の相談に応じる「よろず相談」を行うとともに、参加者のニーズを踏まえてフォローアップセミナーを行います。

<b>3日目 午前</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークショップ③「各地域の取組のふりかえりと、周辺の潜在的な資源の洗い出し」</li> <li>○ ワークショップ④「今後の大学とNPO等との協働によるアクション・プランづくり」</li> <li>○ 実践団体による「よろず相談」・フォローアップセミナー</li> </ul>
<b>3日目 午後</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アクション・プランの発表</li> <li>○ ふりかえり・閉会</li> </ul>

### 運営団体紹介

#### ◆ 東京農業大学 多摩川源流大学

山梨県小菅村をフィールドキャンパスに見立て、地元の廃校を拠点として再利用し、学生達が地域住民と一緒に農林業を体験しながら、本物の知恵や技を学ぶとともに、地域活性化を目指していくプロジェクト。行政組織および地域団体との協力により構想を構築。文部科学省の現代GP事業(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)の採択を受け事業開始。大学の特別プログラムとしての講義・実習にはじまり、社会人教育から学生等によるサークル活動、さらには調査・研究フィールドとしての活用など、全学的な取組へと発展しています。

## 事例発表団体の紹介

◆金沢大学 「里山里海プロジェクト」	大学と地域が協定を締結し、地域連携推進センターが中心となり、行政やNPO等が連携して、社会人を含めた教育・研究と産業振興等を図る取組をご紹介します。
◆早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター	体験的学習と社会貢献活動をキーワードとしたオープン科目と、科目と関連して学生の実践活動を促進するボランティアプロジェクトについてご紹介します。
◆都留文科大学 高田研究室 × 複数のNPO等	研究室のゼミ活動や卒業論文等を、各地のNPO・地域等との協働で行うことで、NPO・地域等の活性化と学生の実践的教育につなげる活動についてご紹介します。
◆農山村支援センター	都市の企業や大学等を農山村地域にマッチングする社会的協働を通じた農山村地域の活性化を取り組んでおり、全国各地でのマッチング事例をご紹介します。
◆人と地域の研究所・高知大学 「いなかインターンシップ」	大学のキャリア教育とも連携しながら、過疎地でビジネス創出を取り組んでいる事業者へのインターンシップ制度を通じた地域活性化の取組をご紹介します。
◆福島県鮫川村 × 東京農業大学入江研究室等	東京農業大学をはじめとしてさまざまな大学やNPOとの連携を通して、加工品開発をはじめとした産業創出や地域づくりを発展させている事例をご紹介します。
◆その他	今後、特色のある取組をしている大学とNPO等との協働事例について、発表団体を追加する予定ですので、ご期待下さい。

## お申込先・お問合せ

### ◆本事業全般に関するお問合せ先◆

社団法人国土緑化推進機構 政策企画部 [担当:木俣・佐古田]

TEL : 03-3262-8437    FAX : 03-3264-3974    E-mail : [comis@green.or.jp](mailto:comis@green.or.jp)

### ◆申込先・会場等に関するお問合せ先◆

東京農業大学 学事課 多摩川源流大学事務室 [担当:矢野]

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

TEL : 03-5477-2247    FAX : 03-5477-2247    E-mail : [gpiimu@nodai.ac.jp](mailto:gpiimu@nodai.ac.jp)

<(社)国土緑化推進機構「森林NPO活動指導者養成事業」>

## 『大学とNPO等との協働による地域づくりコーディネーター養成研修』参加申込書

ふりがな		性別	男 女	生年月日	19 年 月 日
氏名					
所属				役職名	
住所	〒			交通手段	公共交通手段 ・自家用車
電話		FAX		E-mail	
所属団体の実績・役割	※ 所属団体が実施している大学とNPO等との協働による地域づくりの取組と、活動実施時の役割について、お書き下さい。				
その他					